



放課後
デイサービス
ライト

「天候不順も子どもたちは元気です」

今年の夏は、天候不順で夏らしい日が少なく感じます。日差しが無いので、肌寒い日があったり水温が低かったりで「プール日和」という日が少ないですが、子どもたちはそんなことはお構いなく元気いっぱいプールで大はしゃぎです。担当者は一緒にプールに入りますが、子どもたちのパワーでヘトヘトになります。それでも学校帰りとは違う子どもたちの楽しそうな顔を見ると、嬉しくなってしまう。



放課後
デイサービス
レフト

7月16日(日) 午後からプール開き

ライト・レフト合同で7家族の親子とスタッフ25人がプール・温泉ドラム缶風呂・BBQ・スイカ割り・花火などで楽しむことができました。収支は
参加費収入 19,152円
材料費支出 19,152円
でございました。

～展示会のお知らせ～

放課後デイで作成した作品を文京の事務所北側のまごころ織りクラブ会場で常設展示しております。ぜひ、ご覧ください。



デイサービス通信



ボランティア研修

7月24日から8月4日の5日間、北中と中部中の生徒さん12名がデイサービスにボランティア研修に来てくださいました。皆ボランティア経験がないとのことでしたが、どの生徒さんも熱心で自己アピールもしっかりとされて、利用者さんと打ち解けていました。

将来の夢も聞いて、看護師や介護士、中には私たちも知らなかった職業(起業家を作る仕事)もあり「今どきの中学生はしっかりしているね」と目を細めていました。

一宮七夕まつり市民飾りのコンクールに出品した作品は「優秀賞」をいただきました。

今はボランティア展に向けての作品づくりに一生懸命取り組んでいます。



一宮七夕まつり見学



一緒に作品作り...



つぶやき



敗戦記念日

今年も「終戦記念日」として式典等が執り行われた。旧制県立一宮中学に入学したその夏に天皇陛下の玉音放送が流れ、戦争の終結を実体験した私には感慨深いものがある。

玉音放送寸前に一宮市は敵機の空襲を受け、一宮駅周辺の繁華街が丸焼けにされた。夜空を紅蓮に染めて燃え続ける地獄図を私は凝然と眺めるより仕方なかった。

その翌日、自転車で焼夷弾の点々と転がっている道を走り、小広場に山積みされた焼死体の横を通って中学校に辿り着いたが、誇りにしていた校舎が全焼している惨状に呆然と立ち尽くしていたのだ。

戦死した無数の兵士や激戦地となった沖縄の人々、空襲の被災者や殊に広島・長崎の被爆者にとってこの終戦は、こてんぱんに叩きのめされた感じの「敗戦」であり、緩やか平和に軟着陸したような「終戦」では決してないはずである。戦時中、大本営は戦地での敗走を「転戦」、一島の兵士全滅を「玉砕」などと衝撃を和らげる言葉づかいをしたが、その例にならって「敗戦記念日」とすべきを「終戦記念日」と表現したと思えてならない。

だから戦争を知らない若者達は「終戦」というソフトなイメージに惑わされて、戦争の理不尽さ、惨酷さなどを真剣に感じないままに暮らしているし、戦後の70年も経つと平和憲法を改悪しようとする兆しも見え始めている。しかし断固として二度と戦争をしてはならないし、何を今さらと笑われるかもしれないが、「終戦」ではなく「敗戦記念日」にすべきだと、私は訴え続けてゆくつもりである。

人間の業か戦の絶えるなく

澤田 清敏



ケアマネジャーの目

No. 3 熱中症予防

毎日暑い日が続きます。利用者様のお宅に訪問してびっくりすることが時々あります。エアコンが暖房で温度設定も冬のままだったり。反対に冷蔵庫の中のように冷えすぎたり・・・「お茶は飲んでよ」と言われるが、よくよく伺うと一日湯のみ1杯程度とか・・・

高齢者の特徴として、体温調整がうまく出来ず体内に熱がこもりやすい。体内水分量が少なく汗をかきにくい等、高齢者は熱中症になりやすいのです。

- ① 室温はエアコンを上手く使って28度に。夜間もつけっぱなしかタイマー利用を。
- ② 一日に必要な水分量1.2ℓと言われますが、一度に飲むのは無理なので「ちょこちょこ飲み」でこまめな摂取を。そして、リモコン使えてるかな?とさりげなく心配りをして頂けるとうれしいです。

～知っておきたいヘルパーの知識～

ふれあい広場に差し込む西日を和らげるゴーヤの緑のカーテンにたくさんの実がつけました。デイサービスの献立にも色々登場しているようです。その中でも、大好評だった「ゴーヤの佃煮」をご紹介します。

ゴーヤの佃煮

- ゴーヤ 500g しょうゆ 50cc
- 砂糖 100g 酢 40cc
- かつおぶし 10g ゴマ 適量

汁気がなくなるまで煮込むのがコツ

ご飯が進みます。冷凍保存もできますので一度作ってみてください。

